



T O H O K U
U N I V E R S I T Y
F U N D
R E P O R T
2021

東北大学創立115周年・総合大学100周年記念事業
「東北大学基金グリーンマイルストーン」のご案内

東北大学は、2022年に創立115年を迎えました。また、法文学部が設置され総合大学としての歩みを始めて100年の節目にもあたります。

創立115周年の節目に、これまで培ってきた資産を未来へと継承し、世界を先導する研究教育の持続的発展を実現していくため、今後の東北大学基金の拡充目標を定めました。豊かで持続可能な未来社会の実現に向けて、皆様からのご支援をお願い致します。

●詳細は下記URLまたは右記QRコードからご覧いただけます。

特設ウェブサイト ▶ https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_for_all/115-100th_aniversary



東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号

E-Mail:kikin@grp.tohoku.ac.jp TEL:022-217-5058/5905 FAX:022-217-5910

 **0120-279-514** (つなぐ ご意思)

東北大学基金
2021年度基金レポート

ご寄附への感謝

皆さまには日頃より東北大学の活動にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

東北大学は、2022年に創立115周年、1922年に法文学部が設置され「総合大学」としての枠組みが整って100周年を迎えます。創立115周年、総合大学100周年です。

本学の歴史から紐解きますと、本学は民間および自治体等から多くの期待とご支援を受けて創立され、社会とともに歩んできたという想いがあります。2011年3月11日に発生した東日本大震災からの復興を経験し、「社会とともにある大学」というアイデンティティーをさらに確かなものとししました。

引き続き、内外を隔てる壁を取り払い、多様なステークホルダーの皆さまとの対話を通して「エンゲージメント型大学経営」を推進し、社会課題の解決に立ち向かっていきたいと考えます。

東北大学基金は皆さまからのエンゲージメントの一つのあらわれであり、私たちの活動を支える大きな力となっております。

2021年度においても多くの方々から篤い想いをお寄せいただきました。基金には皆さまからの大きな期待、応援が詰まっております。我々と致しましては、その期待にお応えし続けられるよう日々、絶え間なく努力して参りますので、引き続き、東北大学をご支援・応援賜りたく、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

東北大学総長 **大野英男**



2021年度東北大学基金へのご寄附

東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

2008年度創設から2021年度までの東北大学基金へのご支援累計は以下となりました。

東北大学基金へのご支援累計(2008年度創設～2021年度)

累計総額	6,000,982,650円 (うち遺贈によるご寄附:1,586,786,550円)
累計総件数	29,949件 (うち遺贈によるご寄附:5件)

2021年度におきましては、以下のご寄附を賜りました。

2021年度のご寄附

ご支援総額	986,881,820円 (うち遺贈によるご寄附:20,000,000円)
ご支援件数	10,111件 (うち遺贈によるご寄附:1件)

内訳

個人	件数	9,986件	総額	601,110,001円
	うち	一般・卒業生 件数 8,777件	総額 543,348,231円	新入生保護者等 件数 1,209件 総額 57,761,770円
法人・団体	件数	125件	総額	385,771,819円

皆さまからのご寄附は、学生支援や教育・研究の充実、キャンパス整備などに有効に活用してまいります。



大学の礎

いつも東北大学の諸活動をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。また、昨年度においては多くのご寄附を賜りまして深く感謝申し上げます。

社会から国立大学の自律的運営が求められるようになり相当の年月が経過していますが、その傾向はより一層強まっております。東北大学は研究者の創造性によりこれまで数多くの世界的研究成果を出しておりますが、発展的に推進していくためには研究者や職員が安心して活動できる経営基盤が必要です。

東北大学基金は我々の質の高い教育活動、研究活動の礎となっており、本学が推進するより良い社会貢献のためにはより一層の強化が求められます。

皆さまからの篤い想いを賜れますよう、引き続き、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

東北大学理事(基金担当) **佐々木 啓一**

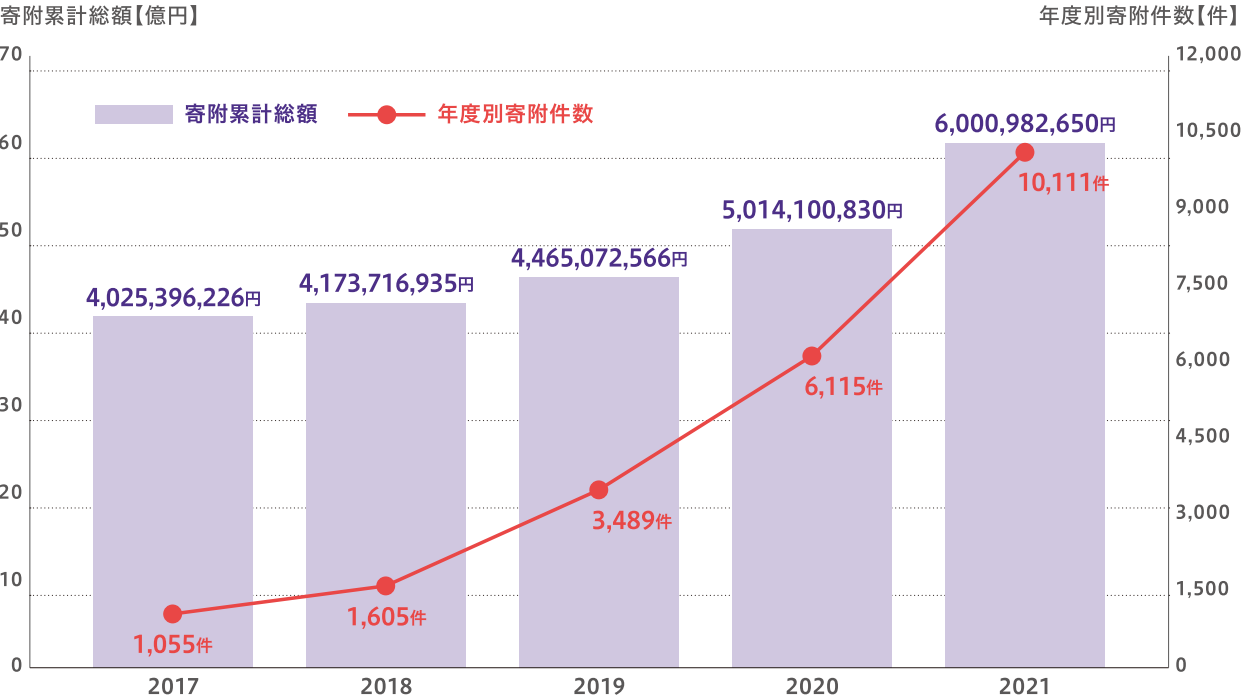
東北大学基金実績報告

2021年度寄附受入 2021年度は総額986,881,820円のご寄附をいただきました。

内訳

一般基金 合計5,687件 総額 454,147,331円	●一般基金	5,418件	453,513,159円
	●古本募金	253件	577,477円
	●リユース募金	16件	56,695円
特定基金 合計1,800件 総額 70,595,501円	●修学支援基金	396件	23,281,000円
	●博士課程支援基金	83件	1,702,000円
	●秋友会支援基金	1,068件	2,478,000円
	●校友会支援基金	151件	318,500円
	●減災教育研究助成基金	5件	512,001円
	●知のフォーラム支援基金	15件	15,034,000円
	●男女共同参画推進基金	12件	5,956,000円
	●震災復興支援基金	7件	82,000円
	●青葉山新キャンパス整備基金	15件	48,000円
	●原子力災害からの復興に向けた支援基金	13件	20,304,000円
	●畑井メダル基金	7件	90,000円
	●研究者育成支援基金	21件	597,000円
	●スタートアップ事業化支援基金	7件	193,000円
	●文学部・文学研究科 文学教育研究支援基金	11件	198,000円
	●教育学部・教育学研究科 미래の教育研究支援基金	5件	36,000円
部局特定基金 合計1,137件 総額 424,202,988円	●法学部・法学研究科 法学教育研究支援基金	44件	49,635,000円
	●経済学部・経済学研究科 未来創造基金	158件	186,417,554円
	●理学研究科 理学教育研究支援基金	109件	3,458,000円
	●医学系研究科 未来医療への22世紀基金	89件	6,814,000円
	●歯学部・歯学研究科 歯学教育研究支援基金	73件	2,413,000円
	●薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金	73件	21,654,000円
	●工学部・工学研究科 未来への挑戦基金	150件	3,683,000円
	●農学部・農学研究科 農学研究科教育研究支援基金	1件	125円
	●情報科学研究科 情報科学の未来基金	33件	575,000円
	●生命科学研究科 生命科学教育研究支援基金	16件	116,000円
	●医工学研究科 教育研究支援基金	6件	200,000円
	●金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金	78件	557,000円
	●加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金	1件	10,000円
	●流体科学研究所 流体科学支援基金	7件	132,000円
	●電気通信研究所 インタラクシヨンの森基金	28件	1,353,000円
	●多元物質科学研究所 未来につなぐ"モノ"づくり基金	49件	262,309円
	●災害科学国際研究所 災害研究の英知を次代へ基金	12件	1,224,000円
	●学際科学フロンティア研究所 学際科学若手研究者支援基金	6件	56,000円
	●未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金	15件	139,602,000円
	●東北メディカル・メガバンク機構 地域とToMMoに基金	32件	1,780,000円
	●東北大学附属図書館 図書館のみらい基金	44件	858,000円
	●東北大学病院 みんなのみらい基金	79件	3,035,000円
	●植物園未来基金	18件	134,000円
クラウドファンディング	1,487件	37,936,000円	
合計	10,111件	総額 986,881,820円	
運用財産収入		46,110,601円	

過去5年の寄附受入推移



寄附者顕彰(2008年度創設～2021年度)

ご寄附の総額に応じて、賞の贈呈をしています。東北大学基金創設以来の賞の贈呈実績(累計)は以下の通りです。

賞	個人	法人・団体	個人数(累計)	法人・団体数(累計)
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上	8	4
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上	20	4
功 労 賞	100万円以上	1,000万円以上	170	18
特別功績賞	50万円以上	500万円以上	139	17
功 績 賞	10万円以上	100万円以上	1,465	56

(2022年3月末現在)



2021年度「東北大学基金 感謝のつどい」の様子

東北大学基金 2021年度Topics

2021年4月

- 東北大学基金返礼品をリニューアル(4/1～)
- 特定基金「法学部・法学研究科 法学教育研究支援基金」を設置(4/1)
- クラウドファンディング「With コロナ! 地域医療と先進医療の要を育てる」を実施(2/2-4/30) >> P10
- 令和3年度学生支援パッケージを決定(4/7～)

※東北大学基金からは全体で9,720万円を支給

東北大学基金返礼品をリニューアル

2021年4月よりご寄附をいただいた皆さまへの返礼品が新しくなりました。東北大学や宮城にゆかりのある3種の返礼品(東北大学オリジナルブレンドコーヒー「Thanks Blend」、北限のお茶「Kitaha」、オリジナル葉「Hagi」)よりお選びいただけます。



寄附者の方から「Thanks Blend(東北大学オリジナルブレンドコーヒー)」の感想をご紹介します!

ペンネーム: チーバくん(卒業生)
口に含むと最初わずかな酸味があり、その後穏やかな味わいがある。最後に焚き火のような香りが残り、懐かしい味わいです。たいへん穏やかな、伝統を思い浮かべる味わいを感じました。

2021年9月

- 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)」受給者を決定※1

2021年10月

- 特定基金「文学部・文学研究科 文学教育研究支援基金」を設置(10/1)
- 特定基金「東北メディカルメガバンク機構 地域とToMMoに基金」を設置(10/1)
- 「第4弾100円朝食サービスの提供(10/18-11/19)」を実施(令和3年度学生支援パッケージ) >> P07
- 「第6回相続・遺言セミナー」をオンラインにて開催(10/23)※2
- 三井不動産様からのご寄附の目録贈呈式を開催(10/29)

2021年12月

- 一般基金「東北大学115周年記念基金(グリーンマイルストーン)」を設置(12/1)
- 特定基金「スタートアップ事業化支援基金」を設置(12/1)
- 令和3年度 東北大学基金「感謝のつどい」を開催(12/9) >> P15
- 母校応援月間「Join TU 2021」を開催(12/9-1/31)
- 東北大学学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ! 2021」を実施(12/9-1/31) >> P11~14
- クラウドファンディング「動物の『ことば』を解読する研究促進のため、実験機材購入にご支援を!」を実施(12/20-2/28) >> P10



2021年5月

- 「第1弾100円朝食サービスの提供(5/10-5/21)」を実施。(令和3年度学生支援パッケージ) >> P07
- 「グローバル萩博士課程奨学金の早期給付」を実施。(令和3年度学生支援パッケージ)※1

2021年6月

- 「第2弾100円朝食サービスの提供(6/14-6/18)」を実施。(令和3年度学生支援パッケージ) >> P07

2021年7月

- クラウドファンディング「早期発見と個別治療最適化で、膵臓がんで亡くなる患者さんを減らしたい」を実施(7/2-9/30) >> P10
- 基金運営委員会を開催(7/16)
- 「第3弾100円朝食サービスの提供(7/12-7/22)」を実施。(令和3年度学生支援パッケージ) >> P07

2021年8月

- 特定基金「歯学部・歯学研究科 歯学教育研究支援基金」を設置(8/1)
- 特定基金「学際科学フロンティア研究所 学際科学若手研究者研究支援基金」を設置(8/1)

東北大学創立115周年・総合大学100周年オフィシャルプレミアムグッズ:オリジナルネクタイ(寄附付き商品)を発売

東北大学創立115周年・総合大学100周年を記念し、株式会社オンワード樫山が運営する「Jプレス」、そして東北を代表する「藤崎百貨店」の共同制作にて、東北大学公認オリジナルネクタイを発売しました。



※2 相続・遺言セミナー

2020年度、コロナウイルス感染症流行の影響により実施できなかった「相続・遺言セミナー」を2021年度はオンライン形式にて10月(第6回)と3月(第7回)に開催いたしました。

各回のテーマ	第6回 遺言による寄付のメリット・留意点と具体例	第7回 おひとりさまの終活
--------	--------------------------	---------------

2022年1月

- 特定基金「教育学部・教育学研究科 みらいの教育研究支援基金」を設置(1/1)
- 特定基金「農学部・農学研究科 農学教育研究支援基金」を設置(1/1)
- クラウドファンディング「膵がんを代表とする難治がんに対する治療法の開発を進めるために」を実施(1/24-4/22) >> P10

2022年3月

- 特定基金「環境科学研究科 環境科学教育研究支援基金」を設置(3/1)
- 「第7回相続・遺言セミナー」をオンラインにて開催(3/6)※2
- 東北大学創立115周年・総合大学100周年オフィシャルプレミアムグッズ:オリジナルネクタイ(寄附付き商品)を発売(3/17)
- 「入学前海外研修(オンライン)」の実施 合計で87名を支援 >> P08
- 課外活動奨励賞(合計:11団体)および学生団体の企画事業等に対する助成団体(合計:8団体)を決定 >> P07

※1 学生の修学・研究を支援

2021年度 支援実績	1 東北大学 元気・前向き奨学金※	2 グローバル萩奨学金
	奨学生数: 6名 ※修学支援基金の奨学金制度の呼称 【主な支援内容】 給付型奨学金の支給	奨学生数: 252名(うち東北大学基金より120名を支援) 【主な支援内容】 給付型奨学金の支給

東北大学全体のTopics

2021年6月

- 対面新歓イベント「Spring Festival」を開催(6/5-6)

2021年8月

- 令和3年度東北大学入学式を挙行(8/9)

2021年9月

- 「福島復興支援室」を設置(9/14)

2021年10月

- 新たに本学の8つの建造物が登録有形文化財に(10/14)

登録された8つの建造物

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 旧東北帝国大学理学部生物学教室 | 5 旧仙台高等工業学校建築学科棟 |
| 2 旧東北帝国大学法文学部第二研究室 | 6 本多記念館 |
| 3 旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室 | 7 旧制第二高等学校正門 |
| 4 旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学実験室 | 8 旧東北帝国大学正門 |

2021年11月

- 第73回東北大学祭を対面とオンライン併用にて開催(11/5-7)

2022年3月

- 「THE世界大学ランキング日本版2022」東北大学が3年連続で1位に選出(3/24)

「THE世界大学ランキング日本版2022」東北大学が3年連続で1位に!
イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」は、ベネッセグループとのパートナーシップに基づく「THE世界大学ランキング日本版2022」のランキング対象となった273大学を発表。ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成され、総合ランキングで3年連続の1位となりました。



100円朝食の実施（「2021年度東北大学学生支援パッケージ」における支援@コロナ支援）

東北大学では2020年度に続き、コロナウイルス感染症による制限下においても、安心して学生生活を送れるよう、2021年度も「東北大学学生支援パッケージ」を実施しました。

特に2021年度は学生生活における「食」に着目し支援を実施。食習慣を整えて元気に学修に励んでもらいたいとの思いから、「学生応援100円朝食」と銘打ち、通常提供価格380円のうち、280円を東北大学基金にいただいたご寄附から補助するかたちで、学生に100円という低価格で朝食を提供しました。

なお、2021年度に実施した「食」による支援は、以下企業様のご寄附によるご支援や現物をご提供いただいたことで、学生たちに届けることができました。

ご寄附によるご支援 ●一般財団法人田中貴金属記念財団 様 ●東北大学関東秋友会 様

物資によるご支援

群馬県産三元豚のご提供

※群馬秋友会様を通じて下記2社様より物資をご提供いただきました

●株式会社林牧場 様
●群馬ミート株式会社 様

環境保全米ひとめぼれ（新米）のご提供

●JA グループ宮城 様

仙台麩（油麩）のご提供

●株式会社山形屋商店 様（卒業生保護者）

また、100円朝食以外にも学生寮等への物資の支給等も以下企業様のご支援のもと、実施しました。

パックご飯（アルファ米）のご提供

●若築建設株式会社 東北支店 様

食品（パックご飯、パスタ、おかず）のご提供

●特定非営利活動法人 ふうどばんく東北AGAIN 様



100円朝食提供時の食堂の様子
（川内キャンパス内）



提供された100円朝食の一例
（肉じゃが定食）

学生からのお礼の声

- ・ご寄附いただきありがとうございます。生活が苦しい中、大変助かりました。朝食を食べ、研究に精を出します！
- ・めっちゃくちゃ美味しかったです！！朝の憂鬱も吹き飛んで最高の1日のスタートをきれました！
- ・この度はご寄附ありがとうございます。とっても美味しかったです。私も卒業後、在校生に還元できるような人になれるよう、精進していきたいと思います。

課外活動奨励賞の授与および企画事業等に対する助成

昨年は、新型コロナウイルス感染症による影響が学生の課外活動の大きな妨げとなりましたが、2021年度は少しずつ対面での活動も実施することができるようになりました。東北大学基金では、コロナ禍でも工夫して課外活動を精力的に実施した学友会所属の以下の学生団体に課外活動奨励賞の授与および企画事業等に対する助成を実施いたしました。

課外活動奨励賞受賞団体：11団体

●陸上競技部 ●応援団 ●ボディビル部 ●オリエンテーリング部
●トライアスロン部 ●女子ラクロス部 ●ソフトボール部
●かるた会 ●コントラクトブリッジ
●陸前高田応援サークルぽかぽか
●競技プログラミングサークル puzzleknot

学生団体の企画事業等に対する助成選出団体：8団体

●写真部 ●陸上競技部 ●フェンシング部 ●応援団
●体操部 ●女子ラクロス部 ●ソフトボール部
●陸前高田応援サークルぽかぽか

受賞団体からのお礼の言葉（学生団体の企画事業等に対する助成選出団体より） 東北大学学友会 フェンシング部

学友会フェンシング部です。当部は全国の国公立大学フェンシング大会を控え、日々練習に励んでおります。この度、東北大学基金から大会や練習試合に必要な審判機の購入費用を助成していただき、ありがとうございました。

審判機の購入により、実践形式に近い質の高い練習を行うことができるようになった他、大会や練習試合でも利用をしています。

先日は、対面新歓イベント「Spring Festival2022」で新入生の体験コーナーで審判機を利用し、新入生から好評でした。



「Spring Festival2022」新入生の体験コーナーの様子

学生の修学を支援

東北大学基金では学生が経済的な理由により修学を断念することが無いよう、返済不要の奨学金制度を設け、学生の経済的支援を実施しています。

東北大学独自の主な奨学金制度

1 東北大学元気・前向き奨学金※（修学支援基金により支援）

※修学支援基金奨学金制度の呼称

経済的に困難のある学部学生を対象とした給付型奨学金制度

主な支援内容 給付型奨学金の支給

2021年度支援実績 6名

2 グローバル萩博士学生奨学金（博士課程支援基金により支援）

優秀な学生が研究に専念できるように支援する博士課程学生を対象とした奨学金制度

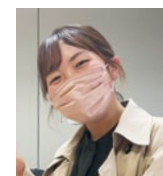
主な支援内容 給付型奨学金の支給

2021年度支援実績 252名（うち東北大学基金より120名を支援）

奨学生からの感謝の言葉

2021年度「東北大学元気・前向き奨学金」による奨学生（修学支援基金）

この度は、奨学金のご支援をいただき誠にありがとうございます。皆さまのご支援のおかげで自ら進学を希望した東北大学で日々学問に励めることを非常にうれしく思います。いただいた奨学金は大学の授業費として利用させていただいております。私は現在、東北大学教育学部に在籍しています。教育を広く多方面から学びたいという思いで教育学部に進学を決めました。特に、今後は教育行政等を専門的に学び、あらゆる人への教育機会の保障や希望格差解消のために何ができるかを研究したいと考えています。将来は、まさにこのような修学支援制度がより拡大し、学びたいと思う人が誰も適切な環境で教育を受けられる社会づくりに貢献できるよう、大学で一所懸命教育について学びたいと思っています。いただいたご支援を決して無駄にせぬよう、皆さまのご期待に添えるように学び、有意義な大学生活を送っていきます。この度は本当にありがとうございました。



千田 美結さん
教育学部4年

学生の国際交流を支援

東北大学では、皆さまからのご支援のもとに学生の国際交流・海外留学への積極的な支援を実施しております。

主な支援内容

1 東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞

留学による海外渡航費や生活費等を支援

2021年度受賞者数 7名

2 入学前海外研修

AO入試により東北大学への入学が決まった高校生を対象とし、プログラム参加費等を支援

2021年度参加者総数 87名

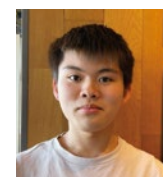
※2022年3月にカリフォルニア大学リバーサイド校（アメリカ）およびヨーク大学（英国）にて実施

1 2 のほかに毎年、スタディアブロードプログラム（夏季・春季の長期休業期間を利用した短期研修）の参加費等を支援していますが、2021年度はコロナウイルス感染症の流行状況により未実施となりました。

入学前海外研修参加者からの感謝の言葉

2021年度「入学前海外研修」による奨学生

コロナ禍という困難な状況にありながら、入学前研修プログラムでは多文化についての理解を深める貴重な経験を行うことができたこと、東北大学基金寄附者の皆さまには心から御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の流行により他国への渡航が未だに困難な今日、本プログラムのような多文化・多様性についての理解を深めることの意義はとても大きいものであると考えております。日本にいながアメリカ合衆国をはじめとした他国について、世界について知り、多様性について考え、それを発信していく。この一連の活動は、目には見えない脅威によって世界中の人々が距離を取らざるを得ない現代だからこそ推奨されるべきものであると、研修を経た今は感じております。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化している現状を思うと、民族とは平和とは何なのかということを考えさせられるとともに、異文化理解・多文化共生・多様性の尊重の重要性を痛感します。講義の中では、「Fight for Live」という言葉が紹介されました。これは、「生きるために闘う」という意味で、昨今の世界情勢と重なり、私が本プログラムで最も印象的だったものです。平和の希求が叫ばれる中で素晴らしい経験ができたこと、本当に感謝しております。今後は今回の経験をもとに、幅広い世界に目を向け、ただ平和を享受するのではなく主体的に社会の現状の改善に奔走することを誓って、お礼の挨拶とさせていただきます。



松井 颯音さん
2022年度
経済学部入学

ポストコロナ社会構築研究推進支援

2021年3月、東北大学は「ポストコロナ社会構築研究推進支援」を創設しました。本学における新型コロナウイルス研究を更に推進させ、本学の総合知を持って持続可能でレジリエントな社会の実現を目指し、人類社会の発展に貢献すべく、学内プロジェクト6課題を採択しました。現在、各グループによる研究が進められています。

研究費総額	1,600万円
研究期間	最長5年
研究費	1件あたり最大300万円(研究期間総額)



採択課題一覧

1 パンデミックをめぐる公共政策
—ウィズコロナ/アフターコロナの地域社会と法政策

研究代表者 法学研究科 教授 飯島 淳子

COVID-19が浮き彫りにした日本社会が抱える諸課題を、公共政策の観点から、国内法制・行政・歴史的な文脈に位置づけつつ考察。特に、東北地方/宮城県/仙台市の実情に即した制度と運用の実態を検討することにより、ウィズコロナ/アフターコロナの持続可能でレジリエントな社会構築に当たっての東北モデルの提示を目標とします。

3 貼る注射「ニードルポンパッチ」による
セルフケアシステム

研究代表者 工学研究科 教授 西澤 松彦

簡易ワクチンへの実用を目指し、電気で「流れ」(電気浸透流)が発生する多孔性マイクロニードルによる「貼る注射「マイクロニードルポンプ」」の開発を進めます。動物実験によって、マイクロニードルポンプによる多量・高速ワクチン皮下投与の有効性と優位性を実証します。さらにバイオ電池を組合わせて、オール有機物の使い捨て型ワクチンパッチの実現にも取り組みます。

5 新型コロナウイルス対応における
移動制限とその効果・影響の分析

研究代表者 環境科学研究科 教授 中谷 友樹

外出自粛要請「日本モデル」の評価と検証を目的とし、①人の動きと感染拡大の統計科学的分析、②個人の生活行動変化の社会科学的分析、③感染拡大防止効果の情報科学的検討を実施。非強制的外出抑制である「日本モデル」が、2020年4月の緊急事態宣言では、モビリティ抑制を通して感染制御に有効であったことが分かったほか、外出抑制が困難であった人々、外出抑制によって影響を大きく受けた人々が地域特性に応じて存在したことを確認しました。

2 高度専門人材デジタル教育基盤に寄与する
インタラクティブVR技能教育プラットフォームの開発

研究代表者 歯学研究科 教授 洪 光

学際異分野連携のもと、サイバー&リアル・ハイブリッドスペースにおける豊かなコミュニケーション技術と技能教育用高感覚提示VR実習シミュレーションシステムからなるインタラクティブVR技能教育プラットフォームを開発し、その教育効果の実証により、世界初のポストコロナ社会に対応した「先端技能・実習実験教育DX基盤」の構築を目指します。

4 海洋天然物ライブラリーから得られた
抗コロナウイルス活性化合物の機構解明

研究代表者 生命科学研究所 教授 田中 良和

海洋天然物ライブラリーから得られた抗SARS-CoV2活性を有する分子のスクリーニングを行い、抗SARS-CoV2活性を有するタンパク質分子を取得。このタンパク質のX線結晶構造解析とそのリガンド分子を同定した結果を基に、クライオ電顕単粒子解析法によりこの稀有なタンパク質の抗SARS-CoV2活性発現機構を明らかにし、SARS-CoV2の治療薬を開発することを目指します。

6 高効率標的RNA 消化機能付与型キメラ人工核酸による
COVID-19 感染治療用核酸医薬の開発

研究代表者 多元物質科学研究所 大学院理学研究科(兼) 教授 和田 健彦

変異型も含めた新型コロナウイルスのゲノムRNAを高効率に切断する「高活性触媒的標的RNA切断機能付与型核酸医薬」を用いて、感染症をはじめとした幅広い疾患に対する治療薬開発を理学・工学・医学の分野融合研究により推進します。同時に東北大学からの次世代型創薬研究を牽引する優秀な次世代人材育成にも取り組みます。



クラウドファンディング

2021年度は、4件のクラウドファンディングに挑戦しました。※うち2件は年度をまたいでの募集:①2020-2021年度:1件 ②2021-2022年度:1件

各プロジェクト紹介

プロジェクト1 Withコロナ! 地域医療と先進医療の要を育てる

新型コロナウイルス感染症の重症例の増加にともない、体外式膜型人工肺(ECMO)や人工呼吸器を使用する患者さんが急増しましたが、それら機器を扱う医療従事者の育成のための施設「東北大学クリニカル・スキルスラバ」の運用において、一人でも多くの重症患者さんを救う医療従事者の育成を目指し、研修環境の充実を目的としたクラウドファンディングに挑戦。目標金額を無事に達成し、頂いたご支援によりECMOのトレーニング用シミュレータと人工呼吸器を、2021年12月15日に設置しました。

東北大学医学部×東北大学病院

目標金額	15,000,000円
達成金額	17,881,000円
募集期間	2021年2月2日～4月30日
ご支援件数	531件



導入されたシミュレータと人工呼吸器

プロジェクト2 早期発見と個別治療最適化で、膵臓がんで亡くなる患者さんを減らしたい

膵臓がんは極めて難治性のがんで、年間に国内で膵臓がん罹患する方は4万人、亡くなる方は3万5千人となっています。膵臓がんで亡くなる方を減らすための鍵は、早期発見と患者さん個々に合った治療にあります。プロジェクトでは早期発見と個別化治療に向けて、膵臓がんの患者さんから提供されたがん組織を活用し、遺伝子解析を行うための研究費用を募りました。2021年9月上旬には目標金額である1,500万円を達成。また、ネクストゴールとして設定した2,000万円の目標金額も終了日までに達成し、多くの皆さまからのご支援を賜りました。

医学系研究科
病態病理学分野 教授 古川 徹

目標金額	15,000,000円
達成金額	20,055,000円
募集期間	2021年7月2日～9月30日
ご支援件数	1,002件



プロジェクト3 動物の「ことば」を解読する研究促進のため、実験機材購入にご支援を!

動物とコミュニケーションをとるという人類の夢の実現に向けて、ヴァーチャルリアリティ技術による野外状況の再現を通じて小鳥の歌声を詳細に解析する研究の推進を目指し、クラウドファンディングによる支援を呼びかけました。開始から約1か月後には第一目標の200万円を達成し、終了までに目標の2倍以上の資金をご支援いただきました。現在、プロジェクトへご寄附頂いた資金で物品を購入し、実験システムを随時構築中です。

生命科学研究所
脳機能発達分野 教授 安部 健太郎

目標金額	2,000,000円
達成金額	4,275,000円
募集期間	2021年12月20日～2022年2月28日
ご支援件数	99件



小鳥の「ことば」を解析し、ヒトと動物が意思疎通できる未来へ!

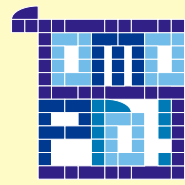
プロジェクト4 膵がんを代表とする難治がんに対する治療法の開発を進めるために

がんの発育・転移のメカニズムに関するオリジナルな研究に基づき、特に膵がんをはじめとする難治がんに対する新しい治療法の開発をテーマとし、その研究体制を維持することを目的にクラウドファンディングを実施しました。本プロジェクトの趣意について多くの皆さまからご賛同いただき、東北大学で実施したクラウドファンディングの事業において、最高額となる21,966,000円のご支援を賜りました。

未来科学技術
共同研究センター 教授 佐藤 靖史

目標金額	20,000,000円
達成金額	21,966,000円
募集期間	2022年1月24日～4月22日
ご支援件数	535件





東北大学学生チャレンジクラウドファンディング ともプロ! 2021

2021年度、東北大学基金は学生がやってみたいことや挑戦したいことを応援するため、独自の寄附プラットフォームを新規で立ち上げ、クラウドファンディングによるご支援を呼びかけました。

このプログラムでは、自分たちが企画した事業やアイデア等の情報を学生自らがSNS(TwitterやFacebook等)を利用して発信するといった新たな手法も取り入れました。

学生が主体となり寄附を集めるプログラムは、本学初の試みでしたが、多くの皆さまからのご賛同を賜り、すべてのプログラムに最大額50万円を助成できました。



東北大学学生チャレンジクラウドファンディング 「ともプロ! 2021」詳細

概要 大学と社会が一体となって学生のチャレンジを応援するプログラムとして学生の皆さんからプロジェクトを公募。審査を通過した学生に対して独自のクラウドファンディングプラットフォームを提供し、資金を集めました。

実施期間 2021年12月9日～2022年1月31日

助成金額 各プロジェクトにつき最大50万円
(クラウドファンディングで寄せられた資金と一般基金からの助成)

選考過程 WEB申請 → 選考委員による審査 → 採択 → クラウドファンディング実施
応募総数 21件 採択件数 8件

広報媒体 ウェブサイト・SNS(Facebook/Twitter/LINE)・Google広告など

挑め!

未来共創の舞台

選考委員からの総評

学外選考委員

伊沢拓司

[東京大学経済学部卒]

株式会社QuizKnock 代表取締役／東北大学グリーン未来創造機構 特任准教授(客員)「楽しいから始まる学び」がコンセプトのWebメディア『QuizKnock』を運営。学校訪問から企業PR支援までマルチに活動するクイズプレイヤー。



小西 晴子

[東北大学法学部卒]

ドキュメンタリーアイズ代表ドキュメンタリー映画・TV番組プロデューサー/ディレクタードキュメンタリー映画等の企画、制作での受賞歴多数。東日本大震災後の故郷再生にける住民の誇りを描く映画「赤浜ロックンロール」等を監督。



佐々木 大

[スタンフォード大学教育大学院修了]

INTILAQ東北イノベーションセンター センター長海外留学コンサルティング、株式会社TPRJ(現株式会社アゴスジャパン)代表等を経て教育コンサルティング業を起業。起業家育成・支援等に取組む。



(五十音順)

学内選考委員

滝澤 博胤 理事・副学長
(教育・学生支援担当)

佐々木 啓一 理事・副学長
(共創戦略・復興新生担当)

大隅 典子 副学長
(広報・共同参画担当)

長坂 徹也 副学長
(社会連携・研究評価担当)

伊沢委員 非常に面白いアイデアが多かった中で選ぶのは大変でした。最大50万円という金額は大きくはないけれど動かすのは大変な金額ではあります。その中で、その資金の動かし方が明確であること、そしてこのプログラムの主旨である「社会との接点」という点において、社会とプロジェクト実行者の間でこの資金をベースに何往復もやり取りが起るようなプロジェクトを選んだつもりです。本当に迷い、自分の責任も大きく感じてドキドキしながらの審査ではありましたが、これが終わりではなく、これからこのプロジェクトが応援を受けてどう動いていくか、また残念ながら漏れてしまったプロジェクトがどうなるかまでも含めて、これから注目していきたいと思ひますし、社会の皆さんにも注目してほしいと思ひます。

佐々木大委員 テーマや課題設定が素晴らしく、ぜひ応援したいと思えるプロジェクトが多かったのが率直な感想です。ただ一方で、実行プロセスの具体性が欠けており、本当に大丈夫?と感じるプランも見受けられました。これを解決したい、実現させたいという「想い」は不可欠ですが、このような形で実現させますという具体性がないと「説得力」には欠けてしまいます。今回の審査を通じて、共感を得るための「想い」、応援を得るための「説得力」、この2つを強く意識してもらっていたら皆さんのプランもさらに良くなったであろうと改めて感じさせられました。

佐々木委員 いつもやっている別の審査よりもとても楽しかったです(笑)。選考委員の皆様には、タイトなスケジュールの中でご協力いただいたことに感謝します。この後は、プロジェクトに伴走していくこと、大学としてもしっかりと応援していくことが必要となります。その時にも、ぜひ委員の皆さまからの応援をいただければ幸いです。今回は第一歩なので、ここからまた全学内でこのプログラムを広く知ってもらい、社会に向けても発信していければと思います。

小西委員 皆さん社会との接点を探している、また理想を実現しようという気持ちを持っていて、とても共感しました。例えば今までにあるものを集めてネット上で広げるというような「正解を求める」というベクトルではなく、「自分がこれをやりたい、自分はここまでやってきた、だから社会の皆さんぜひ応援して下さい」というくらいに、世の中に認められなくても私は絶対こうありたいと思う強い気持ちが人を動かすと思います。ですので、予定調和は考えなくても良いのではないのでしょうか。どんどん自分の想いを投げかけて欲しいなと思ひます。

長坂委員 私は学内で5年ほどアントレプレナーシップ教育プログラムをやってきました。純粋サイエンスであっても人の共感を得るというのは大事な要素だと思いますし、ビジネス志向だけでなくアントレプレナーシップはとても重要です。しかし本学はまだまだそれが全体には浸透しているとは言えないし、レベルが十分高いとも言えず、もっとすごいことをしている大学もあります。ですが継続は力であり、取り組みを続けていくべきだと思います。人の共感を得て前進することは研究の本質であり、その意味で「ともプロ!」はとても大事な取り組みだと思います。

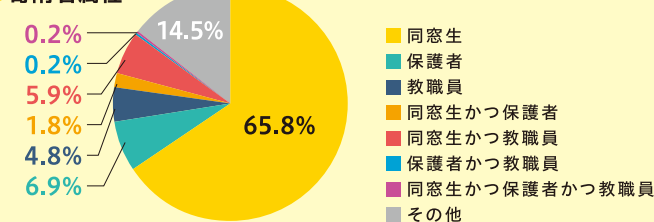
滝澤委員 大変楽しかったです。またたくさん応募があったことは素晴らしいことでした。一方で、この後のクラウドファンディングによって、社会が若者に何を期待しているのかということが見えてくると思ひます。それを踏まえて次年度以降のプログラムの設計に役立てて行けたら良いのではないかと思います。

※大隅委員は冒頭のみ出席のため、講評無し。

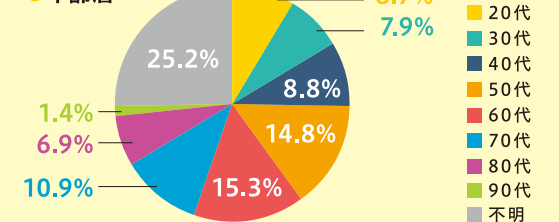
「ともプロ! 2021」へのご支援

ご支援件数 **687件** 寄附総額 **9,386,001円**

●寄附者属性



●年齢層



各プロジェクトのご紹介

No.01 標準化セルフ・コンストラクション・ツールキットによる発災後の住宅再建

大規模災害時、被災者は一時的な避難だけでなく中長期的に避難生活を送るための空間が必要になります。避難所から仮設住宅等へ用途を変えて中長期的に滞在もできる避難シェルターを安価な形で作るにより、避難生活に潜む様々な脆弱性(ウイルス等による生活環境悪化、プライバシー欠如等)に対応し、中長期的な生活再建を支えます。



ご支援件数 **39件** ご寄附総額 **402,000円**

No.02 宇宙探査技術を取り入れたAIロボットによるデジタル農業へ

中小規模の農家にとって、人手不足や高齢化により大きな農場の経営は困難です。その問題を克服するため、自動搬送等を行える宇宙探査技術を取り入れたAIロボットを創っています。若者がコミュニティに残ることや仕事量を減らして収益性を高めることを通じて農家の方々の生活を向上させることを目指し、インターンを雇用して技術面やビジネス面で経験を積めるようにします。



ご支援件数 **96件** ご寄附総額 **951,500円**

No.03 カメルーン・リンベ市における廃棄物の分別とリサイクルの導入プロジェクト

廃棄物を適切に回収し、リサイクルするためには、廃棄物を分別することが重要です。しかし、カメルーンのような開発途上国ではそのような習慣がありません。カメルーン的环境を日本のように良くするため、地方自治体と協力して廃棄物の分別とリサイクルに関する啓発キャンペーンを行うと共に、プラスチックを舗装用タイルにリサイクルする活動も行います。



ご支援件数 **79件** ご寄附総額 **730,000円**

No.04 震災映画プロジェクト

東日本大震災やその後の東北地域の復興を新たな視点から捉える短編映画を製作します。これまでの震災や復興の語りに伴ってきた地域に根差した共同体的価値観は、これからの東北地域の復興を担っていく若い人材の一部にとっては受け入れがたいものでさえあります。外国人学生の視点やフィクションの形式を採用入れ、震災や復興を客観的かつ批判的に捉えて語り直す契機とすることを目指します。



ご支援件数 **36件** ご寄附総額 **391,000円**

No.05 東北大学イノベーションフェスティバル

東北大学にはアントレプレナーシップを持つ学生も多いものの、自ら新しいことを始める主体的な活動はまだ多くないと感じます。このフェスティバルでは、東北大生発の変革を起こす機運を高めるために、周囲の学生の活動を共有し共に価値創造する機会にできるよう、デザイン思考を導入するブース展示、イノベーションアイデアコンテスト、「東北大の未来会議」等を行います。



ご支援件数 **31件** ご寄附総額 **511,000円**

No.06 こころ支える音楽を病院へ！ -医学生と音楽家が実践する音楽-

病院はストレスを抱えやすい場所です。音楽を学び現在は東北大医学部に在籍するメンバー等によるチームが病院を訪問して生演奏を行い、患者・家族・医療従事者のストレス緩和、患者と医療従事者また地域社会と病院の良好な関係構築の手助けをします。近年注目されている、全人的な医療を目指す「ヘルスヒューマンティ」の視点から、音楽と医学、社会の関わりを検討します。



ご支援件数 **110件** ご寄附総額 **917,000円**

No.07 東北大学の学生スポーツに熱狂を【学友会体育部100周年PJT】

2021年で100周年を迎えた本学学友会体育部は本学の課外活動を牽引していますが、各部活動が単独で戦っており、コロナがその傾向を加速させました。より一体感を持ち互いが協力し刺激し合える環境を目指し、記念グッズと「体育部ブースター」の結成により大学スポーツを通じた一体感や熱狂を創出し、ひいては日本の大学を牽引する東北大学独自の文化の形成を目指します。



ご支援件数 **59件** ご寄附総額 **620,001円**

No.08 『とうほく学生演劇祭』による学生演劇の復興

学生のコミュニケーション力や表現力を育んできた演劇を取り巻く環境は、コロナの影響で悪化しました。東北地方で活動する学生演劇団体が一堂に会し東北No.1の学生演劇を決定する演劇祭を仙台で実施し、演劇によって学生間の交流を復活させます。学生は創作活動および鑑賞・批評を通して多様な価値観を育み、共同制作や観客への発表を通して自分が社会にどう働きたいのかを考えるきっかけを得るでしょう。



ご支援件数 **25件** ご寄附総額 **440,000円**

No.09 「ともプロ!2021」プログラム全体を支援

「ともプロ!2021」全体へのご支援も以下件数と総額にて賜りました。

※全体支援へのご寄附は東北大学基金からの各プロジェクトへの助成や、資金以外の支援を提供するための活動等、本プログラムに係る活動全般に活用しました。

ご支援件数 **212件** ご寄附総額 **4,423,500円**

「ともプロ!2021」寄附者からのメッセージ

こちらでは、「ともプロ!2021」に参加しているプロジェクト全体への応援メッセージを抜粋してご紹介いたします。

メッセージ 1 近年東北大学の教育・研究はより活性化しつつあると感じます。学生さんには、様々な体験を通して自己表現力(思いの言語化)を磨いていただくことを期待します。
佐藤 和之 様

メッセージ 2 皆さん立派な志を持たれていて、どのプログラムも素晴らしく、個別で選べないので、全体プログラムに寄附させていただきます。
山口 健 様

■「東北大学基金 感謝のつどい」を開催しました

2021年12月9日(木)、災害科学国際研究所にて功績賞以上を受賞された寄附者の皆さまをお招きし、「東北大学基金感謝のつどい」を開催しました。今回は初めてオンライン併催で開催し、会場参加54名、オンライン参加52名の計106名の方にご参加頂きました。つどいでは、東北大学基金の活動や昨年度の収支報告等に加え、学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ!2021」の採択プロジェクトによる学生からの発表、大野英男総長から本学が現在、推進しているプロジェクトの今後の展望に関する講演、災害科学に関する特別講演や展示等を行い、皆さまに大学の取組みをご体感いただきました。



展示資料を閲覧される参加者の皆さま

■ 古本回収ボックス設置のご案内

東北大学基金では、皆様から読み終えた本・DVD、使わなくなったものをご提供いただき、その査定換金額を東北大学に寄附する取り組み「サステナブル募金」を行っていますが、手軽にご利用いただくツールとして、2021年度1月より大学内各所に古本回収ボックスを設置しました。

読み終わった本や見終わったDVDで手軽に学生を支援してみませんか? 皆さまからのご支援をお待ちしております。

※回収ボックス以外にも直接ご自宅への回収も可能です。こちらの詳細も下記WEBページよりご確認ください。



本部棟に設置した回収ボックス

「サステナブル募金」WEBページ

▶▶ <https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/support/sustainable/sustainable.html>



■ プレミアム返礼品制度がスタートしました

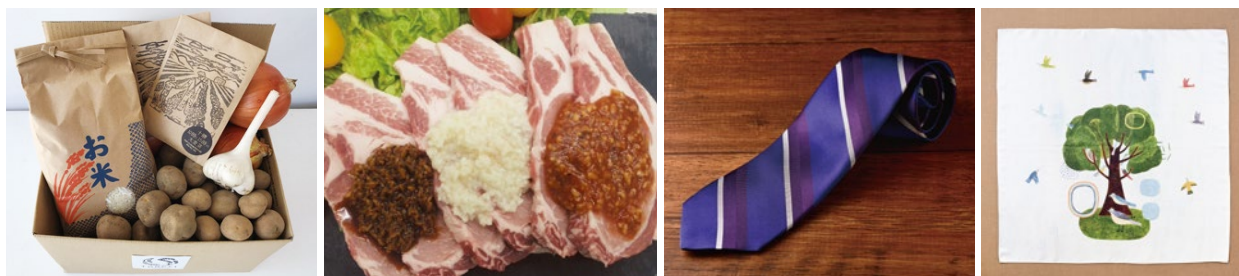
東北大学基金では、今年度より多大なるご支援を賜りました個人の寄附者の皆さまに向けた「プレミアム返礼品制度」を開始いたしました。

この制度は、東北大学の「人材育成」や「社会貢献」などの取組みを返礼品を通してご体感いただきたく企画したものであり、同窓生が手掛ける商品や東北大学の研究成果を活かした製品、また東北ゆかりの品などを取り揃えております。この企画を通して、社会で活躍する同窓生の様子や地域連携による本学の取組みなどを皆さまにお届けできれば幸いです。

※プレミアム返礼品の詳細はホームページにてご紹介しております。下記URLまたは右記QRコードからご確認ください。

返礼品詳細ページ

▶▶ <https://bit.ly/3C0vz2J>



東北大学基金
2021年度基金レポート

寄附者芳名帳